

エコルマ・アンサンブルコンサート vol.8

トリオ・マリーナを迎えて

原麻理子

Mariko Hara

ヴィオラ

三浦一馬

Kazuma Miura

バンドネオン

有吉亮治

Ryoji Ariyoshi

ピアノ

狛江在住、ゆかりの演奏家を中心としたエコルマ・アンサンブルコンサート。

8回目となる今回は、狛江育ちで、現在、ドイツを拠点に活躍しているヴィオラの原麻理子が参加する、トリオ・マリーナを迎えます。

2014年に偶然、公演先で出会い、意気投合したバンドネオンの三浦一馬、ピアノの有吉亮治らと結成、2015年1月に正式デビューしました。

ヴィオラ、バンドネオン、ピアノという個性的な編成ですが、その情熱あふれる、生き生きとした音楽がとても魅力的です。

それぞれの楽器をメインにした演奏と、トリオでの演奏を存分にお楽しみください。

曲目

パッサ：ガンバソナタ第1番 (原、三浦) ピアソラ：カフェ1930 ～「タンゴの歴史」より (原、三浦) ショパン：マズルカ op.24-2、幻想ポロネーズ op.61 (有吉)
マルコーニ：さよならのワイン (三浦、有吉) ピアソラ：バンドネオン協奏曲より第1楽章 (三浦、有吉) エネスコ：コンチェルト シュトゥック (原、有吉)
ピアソラ：ブエノスアイレスの冬 (全員) イベール：フルート、ヴァイオリンとハープの為の2つの間奏曲 (全員)
ウェーバー：ピアノ、フルートとチェロの為の三重奏曲 op.63より 第4楽章 (全員) ピアソラ：リベルタンゴ (全員)

2016.3.26 [土] 15:00 開演 (14:15 開場)

狛江 エコルマホール

●728席・小田急線狛江駅北口、徒歩1分

●小田急線ご利用：新宿から約20分、登戸から約3分 ●バスご利用：調布駅から約15分

全席指定 一般：¥3,000 高校生以下：¥500 (当日学生証など持参下さい) ●団体割引(10枚以上で10%引き)あり、ただし倶楽部Eとの併用はできません。

主催：一般財団法人 狛江市文化振興事業団 <http://ecorma-hall.jp>

お申込み・お問合せ エコルマホール 03(3430)4106

●発売初日のエコルマホール窓口でのチケット販売は9:00から、電話予約は13:00から受付いたします。
●未就学児はご遠慮下さい。託児サービス(2歳以上の未就学児ひとりにつき1,000円・定員制・公演の2週間前までに要予約)がございます。詳細はお問合せ下さい。●曲目等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

一般発売

12.17 [木]

倶楽部E発売

12.11 [金]

プレイガイド

チケットぴあ 0570(02)9999 (Pコード:282-971) <http://t.pia.jp/>
Odakyu OX 狛江店1F 宝くじShop (窓口販売のみ)

音の街-協成

エコルマホール
他公演のご案内

3/20 [日] 10:00～17:00

ふらっとエコルマ、オープンハウス vol.6
和っていい音(お) ～ 箏・三味線・尺八びより～

ECORMA HALL



コンサートに寄せて 原麻理子



ふたたびの凱旋公演、幼少期から十年を過ごした大好きな街、自然豊かな狛江で今年も演奏できること、心から嬉しく思っております。今回は恩師であり人間としても尊敬している今井信子氏、そして憧れのピアニスト伊藤恵氏との共演でした。満員のあたたかいお客様に恵まれ、今でも心に残る公演です。今回はおそらく世界でたったひとつの異色トリオ、十年ちかく音楽を一緒に創ってきた有吉亮治さん、そして若手を代表するバンドネオン奏者の三浦一馬さんと2014年に結成したトリオ・マリーナです。クラシックからタンゴと幅広いレパートリー、そして各楽器また綿密にリハーサルを重ねたトリオとしての魅力をたっぷりお楽しみいただけたら、と思います。

トリオ・マリーナ
TRIO MARINA

ソリストとして活躍している原麻理子、三浦一馬、有吉亮治。彼らは2014年、公演先の小樽で出会い、意気投合しトリオ・マリーナを結成。ヴィオラとバンドネオン、ピアノという個性的な編成を活かし、ロマン派からアルゼンチンタンゴまで多彩なレパートリーを開拓中。2015年1月にトッパンホールでトリオとして本格的なリサイタルデビューをし、その後は不定期ではあるがお互いのさらなる高みを目指し、各地でコンサートを行っている。なお、このトリオの名前は意気投合したホテルのバーの名前から取られている。

原麻理子

Mariko Hara / ヴィオラ



桐朋女子高等学校音楽科を経て2007年同大学を卒業。2000年江藤俊哉ヴァイオリン・コンクール第1位、16歳で日本フィルハーモニー交響楽団とチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を共演。2005年ヴィオラに転向。2006年ブラーム国際コンクールヴィオラ部門2位。今井信子氏のもとジュネーブ音楽院ソリスト・ディプロマコースに学び、2009年満場一致の首席で卒業、最高位「アルベルト・リュエリン」賞を受賞。2010-13年ケルン音楽院にてアントワン・タメスティ氏のもと研鑽をつむと同時にチェリストのステイブン・イッサーリス氏に3年間、IMSプルシア・コーフにて師事、大きな影響を受ける。

これまでジュピター・カルテット・ジャパンとして東京カルテット、ガボール・タカーチ＝ナジ氏に師事。その活動は3年間取材、ドキュメンタリー「カルテットという名の青春」として放送され、ギャラク

シー賞を受賞。これまで、ヴェルビエ、クフモ、ルツェルン等の音楽祭、ウィグモアホール、在米、在英日本国大使公邸など、欧米、アジア、日本各地で演奏。2007年、ユゴー・ドゥ・センジャー財団賞受賞。2008年よりローム ミュージック ファンデーション奨学生。2013年モーツァルト協会(ドルトムント)のヤング・アーティストに抜擢され、モーツァルト協奏交響曲の演奏。同年3月デビューCD「ファンタジー」をリリース。ヨーロッパ各地の新聞、雑誌、ラジオで絶賛され、日本ではレコード芸術特選盤を得る。

2014年ドイツ、フィンランド、ブルガリア、チェコにてオーケストラと共演、ドイツにてBest of NRW コンサートシリーズに抜擢され、14公演のリサイタルツアーを行い、好評を得る。2016年はウィーンのコンツェルトハウスでリサイタルデビュー。狛江で小中学生時代を過ごす。 ▼<http://www.marikohara.de>

三浦一馬

Kazuma Miura / バンドネオン



1990年生まれ。10歳より小松亮太のもとでバンドネオンを始める。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、現在に至るまで師事。2008年10月、イタリアで開催された第33回国際ピアノ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユリー・バシュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。パッハからガーシュウィンまでを編曲・演奏するなど、既成の概念にとらわれない意欲的な取り組みや、バンドネオンの可能性を追求する真摯かつ精力的な活動ぶりは高い評価を受けている。コンサート活動の傍らテレビやラジオ出演も多数。

2007年、井上道義指揮 / 神奈川フィルハーモニー管弦楽団との

共演を皮切りに、以後、大植英次指揮 / 大阪フィルハーモニー交響楽団、アロンドラ・デ・ラ・ペーラ指揮 / 東京フィルハーモニー交響楽団、飯森範親指揮 / 大阪フィルハーモニー交響楽団、藤岡幸夫指揮 / 関西フィルハーモニー管弦楽団、高関健指揮 / 京都市交響楽団、井上道義指揮 / 札幌交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢等と共演を重ねている。

ビクターエンタテインメント(株)より4枚のCDをリリース。最新盤は、2015年4月リリースの「三浦一馬 プレイズ・ガーシュウィン」。現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、恩師であるネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。2015年3月出光音楽賞(2014年度)を受賞。 ▼<http://kazumamiura.com>

有吉亮治

Ryoji Ariyoshi / ピアノ



宮崎県出身。東京藝術大学在学中、日本音楽コンクール第1位。東京文化会館小ホールにて日本ショパン協会主催例会リサイタルに出演。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京交響楽団などと共演。

その後、文化庁在外派遣研修生及び公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生としてジュネーブ音楽院に留学。カントゥ国際ピアノコンクール(イタリア)第2位。留学中、在ヨルダン日本大使館に招聘されヨルダンでのリサイタルをはじめ、スイス・フランス・ドイツ・イタリアなど国内外でのリサ

イタルに出演。またジュネーブ日瑞協会主催コンサートにて今井信子女士と共演。2011年帰国。東京藝術大学主催リストフェスティバル、ショパンの夕べ、ブラームス協会主催例会コンサート、FMリサイタルなどに出演。またヴィオラスペースにてアントワン・タメスティ氏と共演。これまでに谷康子、田辺緑、迫昭嘉、パスカル・ドゥヴァイヨン、ジャン＝クロード・ペヌティエの各氏に師事。現在、桐朋学園大学、桐朋女子高等学校音楽科及び東京藝術大学各非常勤講師。

▼<http://www.ryojiariyoshi.com>